

生体界面化学研究室

Biointerface Chemistry

教授	中野 実	Minoru Nakano
准教授	池田 恵介	Keisuke Ikeda
助教	中尾 裕之	Hiroyuki Nakao

◆ 原著

- 1) Onogi Y, Wada T, Okekawa A, Matsuzawa T, Watanabe E, Ikeda K, Nakano M, Kitada M, Koya D, Tsuneki H, Sasaoka T. Pro-inflammatory macrophages coupled with glycolysis remodel adipose vasculature by producing platelet-derived growth factor-B in obesity. *Sci Rep*. 2020 Jan 20; 10: 670. doi: 10.1038/s41598-019-57368-w.
- 2) Nakao H, Sugimoto Y, Ikeda K, Saito H, Nakano M. Structural feature of lipid scrambling model transmembrane peptides: Same-side positioning of hydrophilic residues and their deeper position. *J Phys Chem Lett*. 2020 Mar 5; 11(5): 1662-7. doi: 10.1021/acs.jpcclett.0c00175.
- 3) Fukuda R, Saito M, Shibukawa S, Sumino A, Nakano M, Murakami T. Urea-assisted reconstitution of discoidal high-density lipoprotein. *Biochemistry*. 2020 Apr 21; 59(15): 1455-64. doi: 10.1021/acs.biochem.0c00075.
- 4) 松浦佳輔, 池田恵介, 中野 実, 橋本征也. ホスファチジルコリン・ホスファチジルセリン含有リポソームによるビソプロロールの取り込み特性: 尿細管プロトン/脂溶性カチオン対向輸送系との比較. *医療薬学*. 2020 Jan; 46(1): 38-43.

◆ 総説

- 1) 中野 実. ナノディスクの物理化学的特性の解明. *生物物理*. 2020 Sep 25; 60(5): 291-4. doi: 10.2142/biophys.60.291.

◆ 学会報告

- 1) 池田恵介. 高曲率膜上でのアミロイドβペプチドの会合状態変化と線維形成の促進. 日本薬学会第140年会; 2020 Mar 25-28; 京都 (紙面開催). (招待講演)
- 2) 佐藤 愛*, 池田恵介, 中尾裕之, 中野 実. 自己集合性ペプチドのN末端アシル化が集合体の熱力学的安定性および構造に与える影響. 日本薬学会第140年会; 2020 Mar 25-28; 京都 (紙面開催).
- 3) 辻井俊樹**, 中尾裕之, 池田恵介, 中野 実. 膜貫通ペプチドの二量体化によるリン脂質フリップフロップの促進. 日本薬学会第140年会; 2020 Mar 25-28; 京都 (紙面開催).
- 4) 松浦佳輔, 池田恵介, 中野 実, 橋本征也. 腎尿細管におけるプロトン/脂溶性カチオン対向輸送系の分子実体. 日本薬学会第140年会; 2020 Mar 25-28; 京都 (紙面開催).
- 5) 中尾裕之, 杉本佑太, 池田恵介, 斎藤大明, 中野 実. モデル脂質スクランブリングペプチドの構造的特徴の解明. 日本膜学会第42年会; 2020 Jun 1-2; 東京 (紙面開催).
- 6) 西川優太*, 中尾裕之, 池田恵介, 中野 実. ラメラ-キュービック相転移の観測によるリン脂質自発曲率の評価. 日本膜学会第42年会; 2020 Jun 1-2; 東京 (紙面開催).
- 7) 穴田千晴*, 中尾裕之, 池田恵介, 中野 実. ジスルフィド結合形成を用いた熱力学的に安定なリン脂質-ペプチドナノディスクの開発. 膜シンポジウム2020; 2020 Nov 12-13; 東京 (オンライン).
- 8) 木村優介*, 中尾裕之, 池田恵介, 中野 実. 膜貫通ペプチドによる細胞膜リン脂質のフリップフロップ促進と貪食誘導. 膜シンポジウム2020; 2020 Nov 12-13; 東京 (オンライン).
- 9) 西川優太*, 中尾裕之, 池田恵介, 中野 実. ラメラ-キュービック相転移を利用したリン脂質自発曲率の評価. 膜シンポジウム2020; 2020 Nov 12-13; 東京 (オンライン).

◆ その他

- 1) 佐藤 愛*, 池田恵介, 中尾裕之, 中野 実. 自己集合性ペプチドのアシル化修飾が集合体形成に与える影響. 富山薬学研究会2020; 2020 Nov 15; 富山.
- 2) 山崎 萌*, 池田恵介, 中尾裕之, 中野 実. モデルペプチドを用いたアミロイド線維形成機構の解明. 富山薬学研究会2020; 2020 Nov 15; 富山.

- 3) 山崎 萌**. 令和元年度薬学部卒業研究発表会・ポスター発表会：卒業論文優秀発表賞. 2020 Mar ; 富山.
- 4) 穴田千晴*. 膜シンポジウム2020：学生賞. 2020 Nov 12-13 ; 東京 (オンライン).